

大槌発

新県立大槌病院落成

津波で損壊し、仮設で診療を続けてきた県立大槌病院が移転新築されました。新しい大槌病院は鉄筋コンクリート造り3階建てで、検査室や診察室に加えて、50床の入院病棟を備えています。6つの診療科があり、常勤の医師5人で地元の開業医とも連携して夜間の当直診療を行います。大槌病院は沿岸部で被災した県立病院の中で初めての本格再建になります。(4/27 ニュースエコー)



大槌発

旧役場庁舎問題



保存か解体かで議論が続く大槌町の旧役場庁舎について、今月18日から開かれてきた町議会と町民との意見交換会が終了しました。町民

からは保存・解体の判断の前に、多くの役場職員がその場にとどまり津波の犠牲になった原因について、検証を求める声が出されました。今後、町民から出された意見を取りまとめ、平野公三町長に対し町議会としての方向性を示す予定です。

(4/29 ニュースエコー)

大船渡発

粘土細工で作品作り

大船渡市の保育園では、東日本大震災の被災地でアート制作を通じた支援を行っているスペインを代表する現代美術家ホセ・マリア・シシリアさんと園児が、一緒に作品を作りました。シシリアさんと36人の園児たちは、男性と女性、木と家などの粘土細工で、小さな『世界』を作りました。粘土細工はシシリアさんの作品『太陽』の一部となり、9月から「もりおか啄木・賢治青春館」で展示される予定です。

(5/2 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

5月4日は、大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが5月4日・5日開催の碁石海岸観光まつりについて伝えてくれました。まつりでは、漁港の女性部による地元の海産物たっぷりの「碁石海鮮鍋」の販売や碁石産わかめの詰め放題など美味しいものやイベントが盛りだくさんです。また、観光大使『つばき娘』のお披露目も行われました。訪れた人たちは新鮮な海産物に舌鼓を打つなど、まつりを楽しんでいたという事です。(5/4)

大船渡発

尾崎神社式年大祭

大船渡市の尾崎神社で8年ぶりの式年大祭が行われました。大船渡市赤崎町の漁港で行われた尾崎神社の式年大祭は160年の歴史を持ちます。4年に一度の祭りですが、前回・2012年は震災の影響で開催が見送られ、8年ぶりの開催です。郷土芸能の権現舞や手踊りが奉納されたほか、神輿や稚児行列が海沿いの町を練り歩きました。また、大漁旗で飾られたおよそ30隻の船が神輿をのせて大船渡湾をめぐり、祭りを盛り上げました。(5/4 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの木村彩子さんが、5月15日(日)に田老漁港で開催される「復興たろう大漁まつり」について伝えてくれました。まつりのメインイベントは大漁旗をつけた漁船が田老の海に出て行く勇壮で力強い『引き船』ですが、そのほかにも白澤みさきさんのミニライブや、地元産品が当たる景品付き餅まきなどが行われるということで、木村さんは「ぜひ、多くの皆さんに来ていただきたい」と話していました。(5/11)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122